

# 営農情報

第82号平成22年2月24日発行 (麦)

## 1 生育概況

2月の気温は高く、多雨で推移しました。麦の生育は平年並みです。草丈は平年より短いですが、茎数は平年並み～やや多くなっています。

降雨日が多く、土壌が湿潤な状態が続いているため、麦踏み・土入れ等中間管理が不十分になっています。一部で雑草の繁茂が見られるため、天気の間を見て土入れを行いましょう。

茎立ち期は、下記のとおりと思われます。

1 1月下旬播種	シロガネコムギ	2月25日前後
	ミナミノカオリ	2月28日前後

## 2 麦踏み・土入れ

麦踏みは、茎立ち期前まで行います。

土入れは、茎立ち期（節間の見え始め）後10日頃まで実施できます。排水対策や雑草防除、倒伏防止の効果が大きいので、かならず土入れを実施しましょう。

### <茎立ち期の判定>

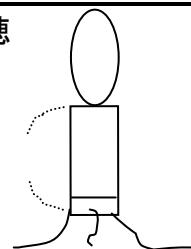
草丈の最も長い茎を選び、その茎の根もと部分の葉鞘をはいでいきます。すると、中に節が見えます。その節間がおおむね2cmになる時期です。

幼穂

節

2cm

根



## 3 雑草対策

ヤエムグラ、カラスノエンドウ等の広葉雑草が見られる場合、アクチノール乳剤を使用することが出来ます。処理時期が遅れないように散布します。

他作物にかからないよう、注意して散布してください。(10aあたり)

対象雑草	除草剤名	使用時期	使用量
広葉雑草	アクチノール乳剤	穂ばらみ期(3月中旬)まで (雑草生育初期)	150~ 200ml

注1：効果安定のために、液量は10aあたり100リットル使用します。

注2：薬剤散布直前及び散布後1週間以内の麦踏み・土入れは避けます。

## 4 排水対策

溝さらえを十分行い、雨水が停滞しないよう排水溝の整備を徹底しましょう。

## 5 追肥

緩効性肥料を使っていないほ場では、茎立ち期前までに追肥を行いましょう。

ミナミノカオリとシロガネコムギが隣接している場合、シロガネコムギは淡く、肥切れしているように見えます。ミナミノカオリの葉色が濃いのは、品種特性によるものです。倒伏させないためにも、過剰な追肥は控えましょう。

**農薬の安全使用と飛散防止対策を徹底しましょう!**